

学科通信(G) 【第10号】

◇一日体験入学

明日は一日体験入学です。思えば数年前、中3の秋に置農に来たなあという人も多いかと思います。学科長としては明日参加する中学生全員を置農に、そして一人でも多くを園芸福祉科に招き入れたいと思っています。この溢れ出る野望を果たすために必要なこと、それはやはり君たちの力です。

毎年、「高校生の先輩方が優しくて楽しかった」や「先輩が楽しそうにやっていたので自分も入学したくなった」というようなアンケートの記述が多くあります。「齋藤先生がとても面白い人だったので入学したいと思った」というような記述は一つもありません。ちなみに記述じゃなくてもそのような声もありません。「それって学科長の力不足じゃないですか」、という鋭い批判には耳を塞ぎながら毎年思うことがあります。それは、「中学生の視線は君たちを向いている」ということです。嫉妬、しても、いいかな。

10年20年歳が離れている先生方より、身近な手本として君たちのことを参考にしたり、視線が向くのは当然といえば当然ですね。君たちに負けないように学科長も頑張ります。これは戦いです。おれに負けるな、おれも負けないから。君たちの良さを全開にして中学生を迎え入れてほしいと思います。楽しくいこうぜ楽しく。 文責 齋藤

◇坂先生より

テーマ《 秋：ススキ 》

花材：ダリア・リンドウ・桔梗・ススキ

籠：あじろ籠

車を運転していると、残暑が厳しかった9月始め、急に【ススキ】が目飛び込んできた。唐突に、前触れもなく【ススキ】が秋の訪れを運んできたのである。それまで全く気付かなかったのに、一日で数十センチも伸びたのか!と驚いてしまう。



ススキを眺めると山形県の風物詩河原での芋煮会を思いだす。蓬田橋の下でクラス・班毎に竈を作り芋煮をした。段取りの良いクラスなので竈に火をつけられれば、美味しい芋煮をあっという間に作り上げた。学校で一番最初に、「いただきます」をするのが常だった。ところでG科の皆さん、芋煮を作れますね。確認です。芋煮は家庭により入る材料も異なります。小国高校の時、白菜と厚揚げが入ることを知りました。あなたのうちの作り方を覚えておきましょう。食文化の伝承に繋がります。 文責 坂